



「んには。と優しく微笑んで取材に応じてくださったのは、皆倉自治会の徳永豊さん（62歳）。小学校〜高校まで錦江町で過ごし、大学は鹿児島県立農業大学（日置市）に進学し、農業についての技術などを幅広く勉強されました。卒業後は、父の薦めで農林水産省に勤務し、日本各地や世界各地で、技術者として活躍されて、2年前に定年退職を期にUターンされました。」

錦江に生きる

From young people in the future

◎このコーナーでは、町内で頑張っている方を中心に紹介していきます。第84回目は、皆倉自治会の徳永 豊さんです。

●84回目 徳永 豊さん

【皆倉自治会】



現在は、学生時代に書きはじめた詩をまとめた「全人類へ贈る詩」を出版されたり、新たな詩を考えることが趣味だそうです。「色々な所を見て来ましたが、錦江町の景色が一番素敵だな」と微笑まれました。

【技術者になろうと思ったきっかけは?】

「家庭が農業をしていたので幼い頃から手伝いをしていました。昔はあまり栽培する作物も少なく食物

もあまりなかったもので、貧しい思いをしました。両親の大変な姿を見て農業について学び世界一の技術者になりたいと思いました。

農林水産省に勤務し、アジア各国を農村開発計画調査団として派遣され、自分の功績が評価された時は、とても嬉しく自信につながると共に益々各国の農村も見に行きたいと思うようになりました。」

【今までで苦労した事は?】

「フィリピンに3年間家族で滞在した事です。これまでは、短期派遣だったので単身赴任でしたが、私の場合、長期派遣だったので家族も一緒に連れて行きました。そこでは、内戦を経験し、貧困地域での内戦は目をふさぎたくなる光景でした。その最中、畑地干害対策や、農作物の普及など様々な仕事をこなすのは苦労しました。」

また、3年も滞在する中では、言語能力の向上にも苦労しました。元々英語には自信がりましたが、なかなか思ったようにはいきませんでした。特に農業技術などの専門的な会話は難しく、自分が伝えたい事が上手く伝わらなくて悔しい思いをしました。そんな大変な状況でも、「人生は楽しみながら」という言葉を自分自身や家族に言い聞かせながら、難題に取り組みしました。

家族から最初は反対もされましたが、今となってはとても良い経験

をさせてもらいました。」と当時を思いだすように話してくださいました。

【今後やってみたい事は?】

「10月15日に出版する『全人類へ贈る詩』を世界中の方に読んで頂けるように各国語への翻訳をしたいと思います。作品は、日本語と英語で記載されており私なりに、感じた事を詩にしているので共感できる方が沢山いたら嬉しいです。」と期待をこめられていました。

「表紙には錦江町の海岸から自ら撮影した、開聞岳に沈む夕日の写真を使用し、錦江町をテーマにした詩も記載した際、改めて錦江町の良さを感じました。今後は、このような活動を通して、錦江町をPRできるような活動もしていけたらと思います。」

地域活動にも積極的に参加される徳永さん。故郷を愛する心豊かな方でした。

町営住宅 空き家 状況
(10月1日現在)

大根占地区

特公賃 芝山団地	1戸
町営 今町団地	1戸
町営 塩浜田団地	1戸

田代地区

町営 荒田原住宅	1戸
公営 溝下住宅	1戸

お問い合わせ及び入居希望の方は、建設課または地域振興課へご連絡ください。

EDITORS

●先日、馬場地区の十五夜に参加しました。茅引きから縄練りまで、初めて体験し、思っていた以上に大変でしたが、貴重な体験ができました。(^^)

次の日起きると体が筋肉痛。20代前半とは全然違う(>_<)まだ、筋肉痛が翌日にくるから大丈夫といい聞かせ、自分で自分を励ましました。★

休日の在宅当番医

月日	病院名	電話番号
10月12日	濱畑クリニック	25-2575
13日	肝属郡医師会立病院	22-3111
19日	二川内科胃腸科	22-2033
26日	大根占医院	22-2658
11月 2日	肝属郡医師会立病院	22-3111

※諸事情により変更となる場合がございますので、ご利用の前にお問い合わせください。

人口の動き

平成26年10月1日現在

	人口	前月号比
人口	8,490人	(12)
男	3,962人	(9)
女	4,528人	(3)
世帯数	4,097戸	(2)

△は減少

住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれます。

発行/錦江町役場
編集/企画課 千893-2392 鹿児島県肝属郡錦江町城元963番地
tel:0994-22-3032 fax:0994-22-1951
ホームページ/ <http://www.town.kinko.lg.jp/>
印刷/海南大誠新社印刷

